

地震モニタリングシステム「ユレかんち」を公共施設に設置

戸田建設(株)(社長:今井雅則)は、自社開発商品:地震モニタリングシステム「ユレかんち」を東京都の東久留米市にある生涯学習センターに設置しました。「ユレかんち」を公共の施設に設置した初めての事例となります。

1. 「ユレかんち」の概要

地震モニタリングシステム「ユレかんち」は、当社が2015年に開発したシステムで、独自のセンサである「ユレかんちセンサ」を所定の建物に設置して、地震発生時に建物加速度を測定します。そのデータを用いて、クラウドにて計算した結果を建物震度として、お客様のパソコンやスマートフォンに表示すると共に建物の健全性を通知します。

(参考) 当社ウェブサイト 技術 INDEX 「地震モニタリングシステム『ユレかんち』」

<https://www.toda.co.jp/tech/construction/monitoring.html>

2. 「ユレかんち」の展開

当社は2015年より「ユレかんち」を自社所有施設や、設計施工でお納めしたお客様の建物に展開してきており、2019年2月までに日本全国で67の建物に計130台の「ユレかんちセンサ」を設置し、建物の震度を観測しています。

2018年6月18日に発生した大阪府北部地震や9月6日の北海道胆振東部地震の際には、当社施設の大阪支店や札幌支店に設置してある「ユレかんち」が建物の震度を観測しており、北海道胆振東部地震の観測データについては耐震工学研究への貢献を目的としてウェブサイトにて広く公開しています。

(参考) 当社リリース「平成30年北海道胆振東部地震の観測データを公開」

<https://www.toda.co.jp/assets/pdf/20181016.pdf>

今回の東久留米市生涯学習センターへの設置は、公共施設への展開事例としては初めてです。東京都の多摩地域西部に位置し、人口116,000人(2018年)の同市では、市役所の地下に既に地震計が設置されていますが、情報の更なる正確性確保と建物の健全性を把握することを目的として、市役所近傍の生涯学習センターに設置することになりました。生涯学習センターの震度情報や、その建物の健全性はクラウドを経由して市役所にて確認できます。今後は市の施設に複数設置する事により、震災時の対応能力の向上が検討されています。



写真1 東久留米市生涯学習センター



写真2 設置したユレかんち



写真3 ユレかんちセンサ